

広島出身で、新国立劇場や二期会など、オペラで引っ張りだこのソプラノ歌手。
8月22日開催「B→C種谷典子ソプラノリサイタル」を紐解くトークイベント！

B→C バッハからコンテンポラリーへ 関連トークイベント

種谷典子が語るB→Cの魅力

参加無料
事前申込制



お話・歌：種谷典子（ソプラノ）

聞き手：澤橋 淳（東京オペラシティ文化財団
プロデューサー）

私は広島生まれ、安田女子中学・高等学校で学んだのち、東京やイタリアで研鑽を積んでまいりました。今回のイベントでは、これまでの自身の活動と、8月22日のリサイタルについて、写真や資料をご覧くださいながらお話いたします。今回のプログラムは、20世紀以降の作品の中でも戦争や抑圧の時代に生きた作曲家たちの「祈り」や「問い」にスポットを当てています。本公演で演奏する曲目の中から、原爆で妻を亡くし、自らも白血病に苦しんだ、永井隆の詩による山田耕筰作曲：「南天の花」と、ホロコースト迫害がテーマのモノオペラ（歌手1名のみによるオペラ）へギー作曲：《アナザー・サン ライズ》より「アウシュヴィッツで何が起こったのでしょうか？」の2曲をお届けいたします。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！

種谷典子（たねたに のりこ：ソプラノ）

広島出身。安田女子中学・高等学校卒業。国立音楽大学及び同大学院修士課程声楽専攻首席修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員（ミラノ、ルガーノ）。ザンドナイ国際コンクール特別賞。日本音楽コンクール及び東京音楽コンクール第2位。宮本亜門演出『魔笛』パパゲーナ役で二期会デビューの後、『フィガロの結婚』にスザンナ役で出演。2023年『椿姫』に表題役で出演し、隅々までコントロールされた美声と高い感受性に裏打ちされた演技力で絶賛された。2024年NHK-FM『リサイタル・パッショ』、東京二期会『コジ・ファン・トゥッテ』、新国立劇場『魔笛』に出演。2025年、読売日本交響楽団『夕鶴』（演奏会形式）につう役で出演。また、ソリストとして、準・メルクル指揮/台湾フィルやマカオ国際音楽祭《第九》、フォーレ《レクイエム》等に出演。今後は、新国立劇場高校生のための鑑賞教室『愛の妙薬』アディーナ役、新国立劇場『ばらの騎士』ゾフィー役等に出演予定。二期会会員

2026年7月20日（月・祝）14:00

開場13:30
終了15:00（予定）

参加無料
事前申込制

ウッドワンさくらびあ リハーサル室（限定80席）

申込方法

ウッドワンさくらびあの窓口または電話でお申込みください。（受付開始：5月16日（土）～）

①氏名②電話番号③参加人数をお伝えください。

【お申込み・お問合せ】 ウッドワンさくらびあ TEL:0829-20-0111

好評発売中！

B→C 種谷典子ソプラノリサイタル（廿日市公演）

2026年8月22日（土）15:00 はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ小ホール 全席指定：¥3,000

「B→C（読み方：ビートゥーシー）」とは？

東京・新宿にある「東京オペラシティ リサイタルホール」にて、1998年から続いているリサイタルシリーズ。バッハ（B）とコンテンポラリー（C）の作品をプログラムに必ず入れるのを条件とした、実力のある若手日本人によるリサイタルで、東京オペラシティの名物企画として高い評価を得ています。2009年より、東京以外での同プログラムの演奏会を開始し、北海道から沖縄まで全国各地で公演を行っています。

●就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。 ●定員に達し次第、締切とさせていただきます。 ●都合により曲目等が変更になる場合があります。

主催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 共催：公益財団法人 廿日市市芸術文化振興事業団 協賛：日本生命保険相互会社